



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 21 年 9 月 2 日(水)  
のしろ白神ネットワーク懇親会開催 編

今年度に入ってから、ネットワークの仲間である各団体は様々な活動をしてきました。ネットワーク最大のイベントである「まち灯り・夏」も無事終了、気が付けば4月から5ヶ月が経過し、楽しい顔合わせである恒例の懇親会も開催しないままであることに気付きました。

まち灯りの田楽 200 基を、佐々木・渡辺両先生、黒松友の会、常盤ときめき隊、すみれ会のみんなで片付けながら、「こんなに頑張ったんだから、慰労会をしましょうよ！」と言うことになり、遅ればせながら9月2日に懇親会も兼ねて開催することになりました。

会場は、国道7号沿線・ホテルエイト横でべらぼう太鼓を披露して下さった田中久子さんが経営する「粹」。参加者は34人と過去最多で、大いに盛り上がりました。会議ではなかなか出てこない「本音トーク」が聞けることが懇親会のいいところ。お互いに、今後の活動にいかせるヒントを得られたのではないのでしょうか。

会の最後は山本地域振興局の長門俊夫地域振興監に締めいただき、今後のネットワークの活動にエールをいただきました。それぞれの団体が交流を持つことで近い関係になりながらお互いに元気をもらい、これからもつながりを活かしたまちづくりを目指しましょう！！

文：能登 祐子



春の異動で懇談会には参加されなくなったものの、サポーターとして支援して下さっている能代河川国道事務所の成田さん、子育て支援課の穴山さんもおいで下さいました。まち灯り開催までに紆余曲折があっただけに、皆さんの団結はこれまで以上に強まったように感じます。



能代バイパス黒松友の会の工藤会長と小林さん。会の皆さんの頑張りで国道の両側分の田楽が完成しました。来年もまた能代七夕の風物詩として沿道を飾りたいですね。



ときめき隊・カヌー隊長の高橋さんはご夫婦での参加です。参加者全員の個性豊かな自己紹介で、ますます顔の見える間柄になったのではないのでしょうか。



高知県の同志・小野田さんからいただいた銘酒は、お酒にうるさい秋田人にも美味しい！と大好評でした。不運にもこの日に負傷した佐々木先生は一滴も飲めず、無念そうに皆さんについていました。



長戸さんの熱いエールに、皆さんまた次のステップへ思いを新たにしました。